

eValue NS

【共通】サーバーOSによって全文検索結果が変わる

項目	内容
FAQ番号	NS2012112901
対象機能	eValue NS 共通 ドキュメント管理 コミュニケーション (Exchange連携なし)
対象バージョン	すべてのバージョン
FAQ公開日	2012/11/29 最終更新日：2017/10/26
FAQカテゴリ	動作環境

概要

eValue NS の全文検索機能 (Microsoft SQL Serverのフルテキスト検索を使用した全文検索) において、eValue NSのデータベースサーバーのOSが、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012である環境と、それ以前のバージョンのOSである環境とでは、全文検索結果が異なる場合があります。

原因

- 仕様改善により検索精度の向上 全文検索を行う上での単語の区切りの仕様が、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012で改善されており、従来全文検索でヒットすべきでないデータについて、ヒットしないようになっています。
例) 「文書管理」というキーワードで検索を行った場合、Windows Server 2003では「文書の管理」や「文書を管理」など、ヒットすべきでないデータがヒットしていましたが、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012ではヒットしません。
- Windows Serverの仕様変更により、Windows Server 2003とは動作が異なる点が2点あります。
 - インデックス作成時に、文字列が分割されて検索エンジンに返されることにより、期待した検索結果が得られない場合がある。
例) 「保管」という文字列は、文書内のどこに文字列があるかによって、「保」・「管」に分割され、検索でヒットしない場合があります。これはファイルの内容に依存する問題です。
日本マイクロソフト社より仕様との回答を得ています。下記KBをご参照ください。
<http://support.microsoft.com/kb/2709225/ja>
 - Word文書の脚注が検索対象とならない。
日本マイクロソフト社に仕様改善を申し入れております。但し修正されない可能性があります。
- Windows Serverの動作の問題により、本来ヒットしなくてはならないデータがヒットしない。
 - インデキシング に使用する言語が“OSの言語”ではなく“ニュートラル言語”へ変更された
回避策：レジストリ変更により改善が可能です。
 - 日本語などのダブルバイト言語へのインデキシングおよびワードブレイクの動作が変更された。
回避策：Microsoft Office 2010 フィルタパック+HotFixをインストールすることで改善が可能です。

対処方法

原因3.については、下記の手順を実行することで改善が可能です (サーバーの再起動が必要です)。

- 「Microsoft Office 2010 フィルタ パック (ファイル名：FilterPack64bit.exe)」を以下URLよりダウンロードしてください。
<http://www.microsoft.com/downloads/ja-jp/details.aspx?familyid=5CD4DCD7-D3E6-4970-875E-ABA93459FBEE&displaylang=ja>
- 「SharePoint サーバー 2010年の修正プログラム パッケージ (ファイル名：office-kb2124512-fullfile-x64-glb.exe)」を以下URLよりダウンロードしてください。
<http://support.microsoft.com/hotfix/KBHotfix.aspx?kbnum=2124512&kl=ja>
※ダウンロードには電子メールアドレス等の入力が必要になります。
- 「Microsoft Office 2010 フィルタ パック」をeValue NSのデータベースサーバーにインストールしてください。
※サーバーの再起動が行われる場合があります。

4. 「SharePoint サーバー 2010年の修正プログラム パッケージ」をeValue NSのデータベースサーバーにインストールしてください。
※サーバーの再起動が行われる場合があります。

5. データベースサーバー上でレジストリ エディタ (regdit.exe) を起動します。

6. 以下のレジストリ値を確認します。

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Microsoft SQL Server¥(※1).(※2)¥MSSearch¥Language¥jpn]
"WBBreakerClass"
```

7. 手順6.にて確認した値で、以下のレジストリ値を変更します。

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Microsoft SQL Server¥(※1).(※2)¥MSSearch¥Language¥Neutral]
"WBBreakerClass"
```

8. 以下のレジストリ値を「{64F1276A-7A68-4190-882C-5F14B7852019}」に変更します。

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Microsoft SQL Server¥(※1).(※2)¥MSSearch¥Filters¥.doc]
" (既定) "
[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Microsoft SQL Server¥(※1).(※2)¥MSSearch¥Filters¥.xls]
" (既定) "
```

9. SQL Management Studioに「sa」アカウントでログインし、以下クエリを実行します。

```
exec sp_fulltext_service 'load_os_resources', 1
exec sp_fulltext_service 'verify_signature', 0
exec sp_fulltext_service 'update_languages'
go
```

10. データベースサーバーの再起動を行ってください。

11. SQL Management Studioよりフルテキストインデックスの再構築を行ってください。

※1 Server 2008 R2の場合 : "MSSQL10_50" SQL Server 2012の場合 : "MSSQL11"

SQL Server 2014の場合 : "MSSQL12" SQL Server 2016の場合 : "MSSQL13"

※2 既定のインスタンスの場合 : "MSSQLSERVER"、名前付きインスタンスの場合 : "インスタンス名"

備考

- OS やSQL Server の組み合わせにより全文検索の結果が変わる場合があります。
- 全文検索によるファイル内文字列の抽出は、前後の文章等によって異なるため、期待どおりの検索結果を得られない場合があります。

このページに掲載している情報は、いかなる保証もない掲載当時の情報を元に提供されるものです。したがって、お客様がご覧になった時点での正確性、妥当性を含めて、これらの内容について弊社およびその関連会社は、明示的にも黙示的にも一切の保証はいたしかねます。さらに、これらの情報を利用した結果により発生した直接的、間接的、偶発的、結果的損害、逸失利益、または特別損害を含むすべての損害に対して、状況のいかんを問わず弊社は一切責任を負いません。